

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	建築演習4
科目基礎情報					
開設学科	建築学科	コース名		開設期	後期
対象年次	2年次	科目区分	選択	時間数	60時間
単位数	2単位	授業形態	実習		
教科書/教材					
担当教員情報					
担当教員	櫻井良明/佐藤光則/堀岡勝			実務経験の有無・職種	有・建築設計
学習目的					
建築を学ぶ上での姿勢を理解し、学ぶ意義や社会的立場を考え今後の学習に対する建設的な方向性を発見する事を目的とする。建築演習4では、客観的視点の上で提案を行い、検討及び検証を重ねた的確な計画を提案し、これを伝える表現の重要性を認識することを学習目的とする。					
到達目標					
これまで学んできた建築的知識を総合的に活用する事を学習の目標とし、その上で次の3点において実行できることを到達目標とする。 ①事例研究のみでなく、独自の調査によりオリジナルの視点を見出すことができる。 ②様々な角度から課題を捉え、それに対し検討や検証を積み重ねることができる。 ③自己の表現を第三者へ正しく伝達するべきプレゼンテーションを行うことができる。					
教育方法等					
授業概要	演習を主体として、体感と検証を重ねていく事で学習の効果を認識しながら進めていく。身近な寸法の把握や、立体から平面を作成したり、平面から利泰を作成する事で立体把握能力を向上させる。事例や建築の成り立ちを学び、各自の作品における個性の創出を狙い、自身の案を効率的にプレゼンし、他者の作品からも学びを生み出していく。				
注意点	取り組んでいる事の目的を理解し、高い習得意識を維持すること。欠席しないことを心掛け、授業時間数4分の3以上出席しない者は、定期試験を受験することができない。日本工学院 授業心得を守ること。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	成果物	40%	講義内制作物から理解度を評価する。		
	レポート	40%	講義内レポートにおいて理解度及び考える力を評価する。		
	平常点	20%	積極的な授業参加を評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	サーベイ①		周辺環境を正確に捉える事ができる。		
2回	サーベイ②		独自の視点で課題を発見する事ができる。		
3回	サーベイ③		関連する事例調査の重要性を理解する。		
4回	サーベイ④		関連する事例を用い、取組内容を説明できる。		
5回	スタディ①		周辺環境を模型や3Dモデリングで再現できる。		
6回	スタディ②		ボリューム検討を行うことができる。		
7回	スタディ③		形態スタディを重ねることができる。		
8回	スタディ④		模型や3Dモデリングで内部空間が検討できる。		
9回	スタディ⑤		全体計画を俯瞰的に確認する事ができる。		
10回	建築表現手法①		意図を伝える模型表現を理解する。		
11回	建築表現手法②		意図を伝えるプレゼンシートを理解する。		
12回	建築表現手法③		意図を伝える模型表現ができる。		
13回	建築表現手法④		意図を伝えるプレゼンシートを制作できる。		
14回	建築表現手法⑤		意図が伝わるプレゼンテーションを理解する。		
15回	建築表現手法⑥		意図が伝わるプレゼンテーションを行う事ができる。		